

南多摩病院・みなみ野循環器病院合同 救急搬送症例検討会

救急隊が搬送した症例で、救急隊が現場で実施した観察や処置、また、病院選定判断した内容等について、活動を振り返りその医学的な判断と処置について事後検証を行う症例検討会を行いました。

この症例検討会は定期的に行っているもので、1月24日18時から約2時間、当院の大会議室において開催いたしました。

この日は、八王子消防署に所属する救急隊や近隣救急隊から多数の救急隊員、同じ八王子市内にある“みなみ野循環器病院”から院長先生を始めとした医療職員の方々、当院からは関救急科・循環器科部長をはじめ、救急外来のスタッフや病院幹部など多数の職員が参加しました。ご参加いただいた全ての方が、救急医療を提供するには地域医療機関との相互協力が最も重要な要素の一つであることと捉えておりました。



最初に2つの症例を救急隊からプレゼンしてもらい、その後、搬送された当院とみなみ野循環器病院の医師から病院到着後の診断、治療内容などを含めた講義がありました。

その後、当院が積極的な運用を図っている病院救急車について、システムと運用状況等を担当している救急救命士から説明を行いました。また最後のプログラムとして救急隊から要望のあった「静脈路確保時のコツ」と題して日頃、多くの穿刺をしている当院救急認定看護師からそのコツの一端を披露しました。



この症例検討会の目的は、病院搬送前の救急救命の質の向上を図ることは勿論のこと、年間4500件余りの救急収容件数を誇る当院として、より一層救急隊とのパイプを太くし、顔の見える関係を構築して強固な信頼関係を結んでいくことで、当院が掲げている「断らない二次救急」に繋げていくことにあります。

今後もこのような症例検討会を重ねることにより地域の皆さんに安心、安全、信頼の医療を提供してまいります。